

諦めない気持ちが必要（伊豆の国市）

R5.12.20訪問



お名前	関野 陽平さん（36歳） （HeyheiFarm）
就農した時期	2021年12月（就農3年目）
栽培品目	ミニトマト
栽培面積	25a（ハウス5棟）
販路	JAふじ伊豆
働き手	本人・パート8名



■ 就農したきっかけ

定年後も働き続けられる仕事がしたいという思いがあったことから、29歳の時に前職のJAを退職し、ワーキングホリデーを利用してオーストラリアで約1年4カ月間の農業体験を経験しました。その後は地元に戻り、「がんばる新農業人支援事業」で研修を受け、就農しました。

■ 活用した支援策等

自己資金の他に、国の「農業次世代人材投資資金（準備型）（経営開始型）」や日本政策金融公庫の「青年等就農資金」、県の「施設園芸大国しずおか構造改革緊急対策事業」を活用しました。

■ 就農の際に工夫したこと

経費削減のため、ハウス内の作業台や灌水パイプ、誘引棚、支柱鉄パイプの組立など、自分で出来ることは自分でやりました。

■ 就農して苦労したこと

資材費や肥料費、燃油価格など経費の高騰に苦労しています。

■ 新規就農を目指す方へメッセージ

施設園芸の新規就農者が農業を始めるには、ある程度の自己資金が必要です。私は地元出身者でしたが、果菜委員会の会員の中には市外からの移住者も多くおり、相当な覚悟を持って研修に臨んでいたと思います。私自身「やるしかない」というポジティブ精神で頑張ってきましたが、農業は軽い気持ちでは続かないので、諦めないという気持ちが必要です。